

Since 2001

## 吉野川市内郵便局



13局が協力して吉野川をクリーンアップ

吉野川最大の川中島・善入寺島に架かる川島潜水橋——中流きってのビューポイントに、7月7日、吉野川市内の13の郵便局から局員とその家族37名が集まりました。初夏の清々しい気候の中、午前9時に和気あいあいと清掃がスタート！空き缶やビニール、どこから流れてきたのか立派な鬼瓦まで、約1時間の清掃の成果(?)を前に記念撮影です。

“吉野川”市の住民にとって川はとても身近で「あって当たり前の空気みたいなもの」。局員も普段から鮎釣り、ウォーキング、写真撮影……と思いついに川とのふれあいを楽しんでいます。



そんな皆さんにとって、アドプト・プログラム吉野川への参加はごく自然なことでした。「地域あっての郵便局。少しでも地域に恩返しを」——さわやかに語る頼もしい“郵便さん”達です。

Since 1999

## (株)阿波銀行



**ADOPT**



記念すべき第1回のアドプトにて

(株)阿波銀行は地域貢献活動の一環として平成11年7月にアドプト・プログラムに参りました。吉野川大橋から上流へ600m区間の南岸が担当で、愛称は「うちの土手」。“うち”は阿波弁で“私”的意味。このネーミングは、当時の代表取締役会長で吉野川交流推進会議の初代会長であった住友俊一さん(上写真)によるもので、「より親しみを持ち、自分の庭のようなつもりで吉野川を美しくしていく」という思いを込めたそうです。

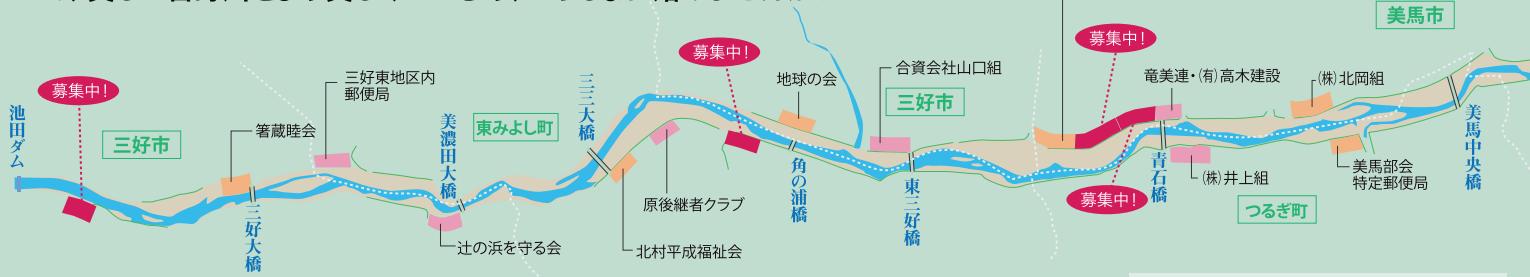
平成15年8月には穴吹川河口の吉野川右岸を追加し、「分家うちの土手」と命名。「うちの土手」は62回、「分家うちの土手」は38回もの清掃活動を重ねてきました(2019年現在)。アドプト最古参、地域のリーダーとして、これからもアドプト・プログラム吉野川に積極的に参加していきます！

うちの土手、きれいにしたけんな～



## 四国三郎・吉野川はかけがえのない私たちの家族 参加しよう！アドプト・プログラム吉野川

徳島の宝物“吉野川”を私たち自身の手で守ろうというボランティア活動で、美しい吉野川をより美しく——さあ、いっしょに始めませんか！



### ①アドプトとは“養子縁組”的こと

吉野川の土手や河川敷を子どもに見立て、その一定区間と企業や住民グループが養子縁組(Adopt)します。吉野川を自分の子どものようにかわいがってくださいね。

### ②清掃美化ボランティアを行います

担当する区間の清掃・美化活動を定期的に行います。活動を続けることで、どんどん吉野川への愛着が深まります。

### ③看板が立ちます

吉野川の土手や河川敷に、団体の名前を記した看板が立ちます。ちょっと誇らしい気持ちになります。

### ④こんな効果があります

ゴミが少くなり、吉野川が美しく、清潔に保たれます。それと同時に、参加した人の心まできれいになります。汗を流してゴミを拾ったら、ゴミを捨てられなくなります。また、この活動を目にする多くの人の環境への意識を高め、川を大切にする人の輪がますます広がることが期待できます。



このエリアは団体募集中です。  
それ以外も縁組可能なエリアはありますので  
どうぞ気軽にお問合せください！  
吉野川交流推進会議 ☎088-621-2743

